



# よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和6年6月6日

第5号

じゅうじつ こうがいかつどう 充実した校外活動・・・その後。

## ハシの日とケの日 まな い 学びを活かすとは？



しぜんきょうしつ 自然教室、しよくばたいけんがくしゅう 職場体験学習、しゅうがくりょこう 修学旅行。かくがくねん 各学年の大きな行事が終わりました。すべての学年で大きな成果を得ることができ、これでまた一段階、「自律」「協生」「創発」に近づいたかと思えます。個人でもふりかえりやまとめを行っていますが、できたこと、できなかったことを丁寧に整理できたでしょうか。行事は終わりましたが、皆さんの学校生活（集団生活）は、これからも続きますからね。



### 修学旅行

旅行全体で生徒の自由度を高め、生徒自身が考えて行動する場面が多い3日間だった。いくつかのトラブルはあったものの、班や個人で修正したり、失敗を認め挽回しようと試みたりする姿がたくさんみられた。室長や班長以外の生徒から、周囲への声掛けをする場面が増え、ゲスト→キャストに変わる3日間であった。

事後指導では、「自律・協生・創発」を軸にふり返しを行い、今後の生活につなげる取組を行っている。

### 職場体験

「お店屋さんごっこで終わらせない」ために、事前学習を丁寧にやった。体験のねらいを個々に考え、目的意識をもって事業所に向かった結果、多くの事業所からお褒めの言葉をいただけた。3日間の体験をふり返し、学びをプレゼンソフトにまとめている。「地域密着の職体」初年度として、その経験を1年生にしっかりと伝えてほしい。

## 自然教室

中学校最初の集団行動。校外学習と学年・学級づくりのオリエンテーション、国際理解教育や四日市市の文化に触れる取組など、中部中らしさいっぱい活動であった。実行委員を中心にメニューが進められたが、全員がそれを楽しみ、盛り上がる2日間であった。自然の家の方がおしゃった「あいさつ」「元気の良さ」を継続してほしい。

## 学びを学校生活に活かす・・・っていうよね。

せっかくの学びは、活かさなければもったいない。学んだことは、普段の生活で使わなければ忘れてしまいます。自然の家、東京、事業所だからできたのではなく、普段の生活でもできることはあるはずですよ。

### 1-1と実習生

教育実習生杉田さんの最後の授業は1-1の音楽でした。その授業には、たくさんの先生の参観がありました。初めて聞いた下のパートの音階を丁寧に練習し、たった2回の授業で見事に二部合唱を歌い切ったのです。大きく口を開け、身体を揺らして楽しみながらも精いっぱい歌う1-1。杉田さんの話を聞き逃さないように、「静かにしよう！」と声を掛け合い真剣に耳を傾ける姿。3週間一緒に生活した杉田さんの授業に、最大限の態度で応えました。参観された先生からは、「みんなが（ゲストではなく）キャストだったね。」という声。ついつい授業は受け身（ゲスト）になりがちのところ、杉田さんの最後の授業に最高のホスピタリティを発揮した1-1。自然教室での学びが活かされている・・・と感じた時間でした。



### 日本人の伝統的な世界観として

私たちの生活には、非日常的な「ハレ」と、日常である「ケ」の両面があります。「晴れ着」というように、祝い事や特別なイベントが「ハレ」であるのに対して、毎日繰り返されるごくあたりまえのことが「ケ」にあたります。現代社会は、とかく華やかな「ハレ」が注目を集めますが、その華やかな「ハレ」も、一見退屈にさえ思える「ケ」の充実の上こそ、特別で有り難い（ありがたい）ものとして感じられるものだと思います。

「ケの美展 展覧会ディレクター 佐藤卓から引用」

非日常で学んだことを日常で発揮する。反対に、日常の地道な練習の積み重ねが試合やコンクールにつながる・・・。皆さんは、それを知っていますね。だからこそ、非日常の頑張りだけでなく、地味な日常が大切。ゲストとして中学校で過ごすのではなく、キャストとして中部中学校をより良くしていく一員になってほしいと願っています。

## 次のハレの日は、1学期期末テストだ 6月12日（水）～14日（金）

定期テストも同じです。テスト前日に一夜漬けで頑張ったって成果は少ないものです。このテスト期間がどのような態度で過ごすのか。みんなで高め合いながら、良いテンション・コンディションでテストに臨もう。

テストは個人競技と思いがちですが、案外、団体競技なんですよ。